

20th
Anniversary

シンフォニア岩国
開館20周年記念

岩工に在学中、
美しい
錦帯橋を調べ、
彫刻家に
なろうと思い
始めました。

山口県立美術館所蔵

澄川 喜一展

全ての原点は

錦帯橋から

2016年
6月21日(火)-7月5日(火)

10:00-17:00 (入場は16:30まで)

シンフォニア岩国 企画展示ホール
入場無料

【期間中のイベント】入場無料・申込不要

6月21日(火) ①11:00～ ②14:00～

山口県立美術館学芸員によるギャラリートーク
会場で山口県立美術館学芸員のギャラリートークを開催します。

7月2日(土) 11:00～

澄川喜一スライドトーク [会場:多目的ホール]

作家本人による、展示作品や作品制作についてスライドを交えた講演。

※許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りします。

主催 シンフォニア岩国 指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ

後援 山口県、山口県教育委員会、岩国市、岩国市教育委員会
(公財)岩国の文化を育てる会、岩国市文化協会

協力 山口県立美術館 作品撮影:杉本和樹



シンフォニア岩国 TEL:0827-29-1600

山口県民文化ホールいわくに

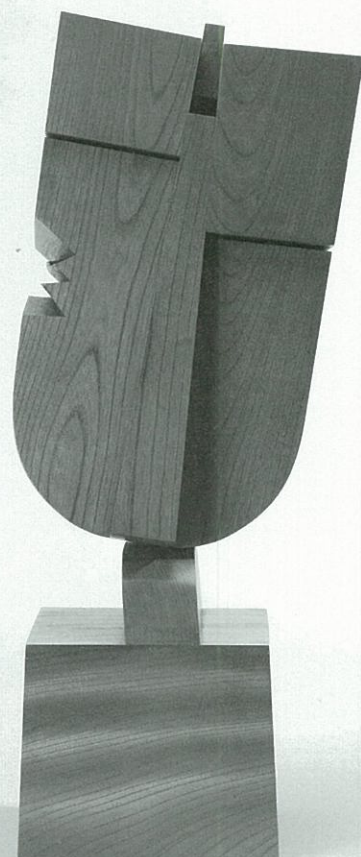
〒740-0016 山口県岩国市三笠町1-1-1 受付時間 10:00～19:00

<http://sinfonia-iwakuni.com>

山口県立 美術館所蔵 澄川喜一作品 12点を展示。



《おき 1981年 杉・樺》



澄川 喜一 Kiichi Sumikawa

- 昭和06年 島根県に生まれる。
- 昭和26年 山口県立岩国工業高等学校機械科を卒業。日本の古い木造建築の研究を始め運慶や快慶の彫刻に感動する。
- 昭和27年 東京藝術大学彫刻科入学。平櫛田中教室にて塑造を学ぶ。
- 昭和54年 木を生かすことの発見から「そのあるかたち」シリーズの制作にとりかかる。耳を澄まし木という素材の声を聞き取り、耳に聞こえる音では無く視覚で聞く空間の音を感じたく、「目で見える空間の音作りの試み」は以後今日までのライフワークとなる。
- 昭和56年 東京藝術大学教授となり平成7年同学学長を務める。
- 平成23年 現在日本芸術院会員・文化功労者。作品は木彫の「そのあるかたち」シリーズをライフワークに、新たに日本神話から題材をとった金属の「OROCHI」シリーズも加わる。
- 平成25年 中国文化賞、横浜文化賞、NHK放送文化賞を受賞。

現在、東京スカイツリーのデザイン監修を務めるなど、全国に野外彫刻・環境造形を多数手がける。

現在の所属など

日本芸術院会員、東京芸術大学名誉教授・顧問、東京芸術大学大学美術館評議員、新制作協会会員、日本美術家連盟理事、日本建築美術工芸協会理事、シンフォニア岩国名誉館長、平櫛田中美術館(井原市)運営委員、平櫛田中賞選考委員、朝倉文夫記念館・大分アジア彫刻展運営委員、現代日本彫刻展(宇部)運営委員、島根県芸術文化センター長、石見美術館館長、横浜市芸術文化振興財団理事長、岩国市名誉市民、六日市町名誉町民、清瀬市名誉市民

【お問い合わせは】



山口県民文化ホールいわくに
Tel.0827-29-1600 Fax.0827-29-1609
〒740-0016 山口県岩国市三笠町1-1-1
受付時間 10:00~19:00
<http://sinfonia-iwakuni.com>

- JR岩国駅から南へ約800m(徒歩約10分)
※JR広島駅からJR岩国駅まで約50分
- 山陽自動車道 岩国ICから約10km
- JR山陽新幹線 新岩国駅から約10km
- 岩国錦帯橋空港から車で約5分
- 三笠橋バス停から徒歩約5分

※駐車スペースに限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



澄川 喜一展

山口県立美術館所蔵
全ての原点は
錦帯橋から